



視点4 事業の継続性
**視点4-2 人口減少・財政制約に対し、
 経営基盤の強化に努めます**

1. 『湘南ふじさわ下水道ビジョン』での方針・目標

下水道整備中心の施策から、多種多様なニーズ・課題に対応した下水道施策への転換が求められる中、藤沢市下水道事業では早期から企業会計方式を導入し、行政改革の一環として健全経営化を推進しています。一方、長期的には人口減少や水利用形態の変化により使用料収入の減少が見込まれ、下水道の維持管理・計画的改築に対する財政制約がより一層厳しくなるものと考えられます。下水道サービスレベルの維持・向上のためには継続的な経営改善と経営基盤の強化が求められています。

方針・目標
 【長期目標】

**コスト～事業効果～リスクバランスを考慮し、
 独立採算制を原則とする下水道事業運営を目指します**

主な施策

- 1) 中長期経営計画の策定とアカウンタビリティの向上
- 2) コスト縮減への取組
- 3) 収入確保への取組
- 4) アセットマネジメント手法の本格導入

2. 第1期アクションプログラムの評価

平成25年度と平成28年度に短期経営計画を見直すとともに、平成26年度に10年間の経営計画を策定しました。また、この経営計画や下水道ビジョンに基づき、コスト縮減や収入確保に関する様々な取組を実施し、経営基盤強化に努めてきました。また、企業債利息及び減価償却費の減少もあり、経費回収率は102%に達しました。しかし、今後の改築事業量の急速な増大等に対応するためには、さらなるコスト縮減・収入確保への取組が必要です。

	第1期アクションプログラムでの実施状況	評価指標	
		活動指標	効果指標
1) 中長期経営計画の策定等	中長期及び短期経営計画の策定・公表 😊	中長期経営計画 目標：策定 実績：経営計画策定 😊	経費回収率 目標：約93% 実績：102% 😊
2) コスト縮減への取組	コスト縮減に関する右記の取組実施 😊	コスト縮減 目標：取組 実績：新技術の導入、維持管理委託の見直し 😊	
3) 収入確保への取組	収入確保に関する右記の取組実施 😊	収入確保 目標：取組 実績：水洗化促進の訪問、使用料見直し・改定 😊	
4) アセットマネジメント手法の本格導入	AM導入に関する右記の取組実施 😊	アセットマネジメント手法導入 目標：— 実績：下水道台帳整備、固定資産台帳との突合、先進都市の視察 😊	
施策評価	😊 中長期経営計画の策定・公表と下水道使用料の見直し、下水道整備・改築に係るコスト縮減策の実施、維持管理委託業務の集約化によるコスト縮減などを実施し、経営基盤強化に努めている 😊 維持管理費の抑制に加えて、企業債利息及び減価償却費の減少により、経費回収率が向上した		

用語：アカウンタビリティ、維持管理費、企業会計、経費回収率、下水道使用料（使用料）、減価償却費



3. 第2期アクションプログラムの実施方針

今後も修繕・改築事業量の急速な増大や、豪雨・地震・津波などの大規模災害対策に対する事業量の増大も見込まれ、さらなる経営基盤強化が求められています。このため、ストックマネジメントの見通しを踏まえた中長期的な経営計画を明らかにし、さらなるコスト削減や収入確保に取り組むとともに、人・モノ・カネの一体管理であるアセットマネジメント手法の本格導入に向けた準備作業を強化します。

【主な事業内容のポイント】

- アセットマネジメント手法の本格導入に向けた準備作業を加速させる
- ・アセットマネジメント手法の本格導入 (⑨⑩⑪)

表1 「視点4-2. 経営基盤の強化」の主な事業内容

主な施策項目	具体的な事業	種別	事業実施時期						
			29	30	31	32	33	34	
1) 中長期経営計画の策定とアカウンタビリティの向上	①中長期経営計画及び短期経営計画の策定・見直し	継続	→						
2) コスト削減への取組	②新技術、新たな発注方式を取り入れた建設・改築事業費の削減方策検討、実施	見直し	→	→	→	→	→	→	→
	③維持管理の効率化	見直し	→	→	→	→	→	→	→
	④不明水の削減方策検討	継続	→	→	→	→	→	→	→
	⑤事業の総合化(他事業との連携等)	継続	→	→	→	→	→	→	→
3) 収入確保への取組	⑥水洗化率の向上	継続	→	→	→	→	→	→	→
	⑦下水道使用料の適正化	継続			→	→	→	→	→
	⑧収入拡大方策の研究	継続	→	→	→	→	→	→	→
4) アセットマネジメント手法の本格導入	⑨企業会計システムの運用	継続	→	→	→	→	→	→	→
	⑩アセットマネジメント導入計画策定	強化	→	→	→	→	→	→	→
	⑪アセットマネジメントデータベース構築・試行	強化			→	→	→	→	→

4. 第2期アクションプログラムの目標（活動指標と効果指標）

主な施策・事業の実施状況及び実施効果については、以下の活動指標・効果指標を基に、3年ごとに評価を行います。

表2 「視点4-2. 経営基盤の強化」の目標（活動指標と効果指標）

施策項目	指標		第2期A P 目標		備考 (実績)
			中間評価 (H31年度)	第2期A P (H32～34)	
中長期経営計画の策定	活動指標	中長期経営計画策定	計画策定 (H29～31)	計画策定 (H32～34)	H23～28末 中期経営計画策定等
コスト削減への取組	活動指標	コスト削減	取組 (H29～31)	取組 (H32～34)	H23～28末 新技術の導入、維持管理委託の集約化
収入確保への取組	活動指標	収入確保	取組 (H29～31)	取組 (H32～34)	H23～28末 水洗化促進の訪問、下水道使用料改定等
アセットマネジメント手法の本格導入	活動指標	アセットマネジメント手法の導入	計画策定 システム構築 (H29～31)	計画策定 システム構築・試行 (H32～34)	H23～28末 下水道台帳データベース化、先進都市の視察等
中長期経営計画の策定 コスト削減への取組 収入確保への取組 アセットマネジメント手法の本格導入	効果指標	経費回収率	100%以上 (H31末)	100%以上 (H34末)	H28末 102%

※活動指標の計算方法…経費回収率：下水道使用料÷汚水処理に要した費用×100 (評価年値)